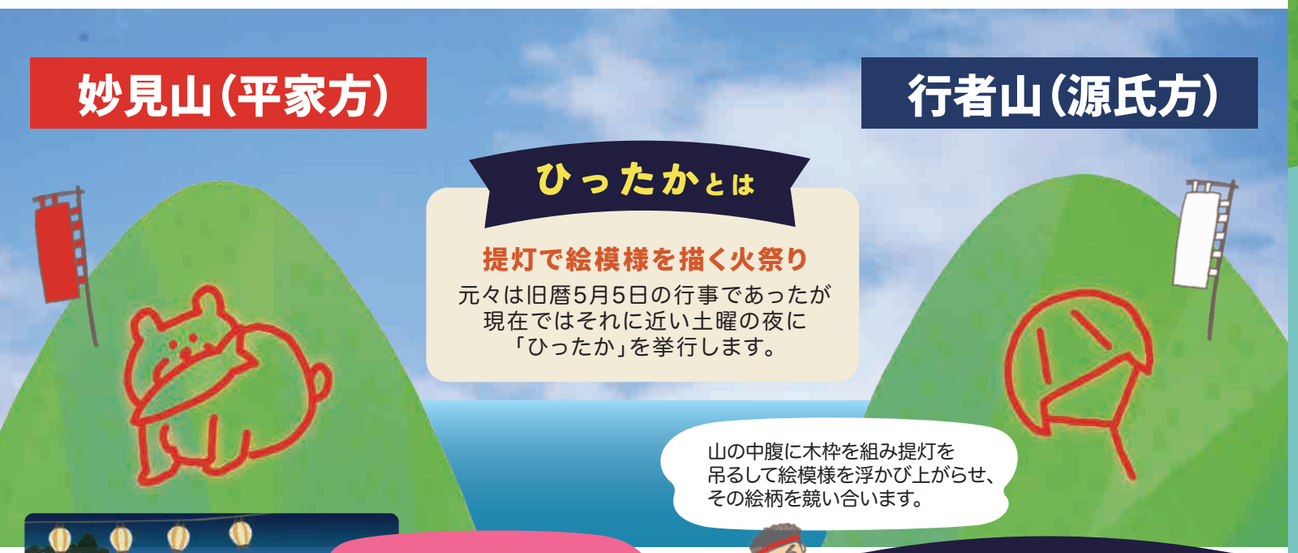
金浦の伝統行事
ひったかおしぐらんご

市指定重要無形民族文化財
指定年月日
ひったか昭和49年7月30日
おしぐらんご平成17年3月24日



ひったかとは

提灯で絵模様を描く火祭り

元々は旧暦5月5日の行事であったが
現在ではそれに近い土曜の夜に
「ひったか」を挙行します。

山の中腹に木枠を組み提灯を
吊るして絵模様を浮かび上がらせ、
その絵柄を競い合います。



ひったかの夜は屋台が出て
金浦のまちが賑わいます



おしぐらんごとは

2艘の和船で競漕する行事

旧暦5月5日に近い日曜日に挙行されます
金浦湾の沖合から陸の方を目指して
先を競います！

火と舟に込められ他、金浦の人々の誇りと歴史。今もなお、地域の絆で守り続けられています。

その他、地元民メモ

金浦認定こども園
岡山県笠岡市金浦1565
生後3ヶ月から5歳児を対象とした
定員60名の認定こども園です。

新川こども園
岡山県笠岡市金浦737-1
産休明けから5歳児を対象とした
定員80名の認定こども園です。

太陽の森こども園
岡山県笠岡市生江浜１０７９−１
生後3か月から5歳児を対象とした
定員70名の認定こども園です。

笠岡市内のミニ霊場
のご案内
※金浦が含まれています

金浦にこにこクラブ

学童の子供達がおすすめしたい場所を聞きました！



えびす神社
ようすな会館
「とんび」のロケ地
ひったか
おしぐらんご
ふみきり
清水庭園（大きなお庭）
葛城神社
中央公園
大きい石があってそこで
写真を撮る人がいる
旭ヶ丘の上に神社

紙マップは一部をご紹介しています。金浦地区全体はデジタルマップへ！

かさおか皆のデジタルマップ

R8.10.31作成



助成 公益財団法人 福武教育文化振興財団

主催：かさおか皆のマッププロジェクト
協働：金浦地区まちづくり自治協議会

※紙面の都合上、金浦地区の一部をご紹介しています。

笠岡市金浦地区

エリアA（金浦あたり）

古くから港町として栄えた金浦地区。
歴史ある神社仏閣や伝統行事、海と山に囲まれた風景が魅力です。
歩くたびに、この町の歴史と文化に出会えます。


八幡神社

歴史スポット
ぜひ足を運んで欲しい
神社



金浦の人々が、今も大切に守り続ける氏神さま

A 八幡神社

金浦で最も信仰を集める神社



春祭りや秋祭りなど、地域の暮らしと深く結び付いた存在です。



御祭神
応神天皇：武運長久や国家守護の神。
神功皇后：安産や子育て、厄除けの神。
玉依姫：縁結びや開運の神



B 田方神社（八幡神社境内）



鎌倉時代からの歴史を刻み、笠岡市金浦の街を見守る田方神社。
ご利益：厄除け・疫病退散、家内安全、五穀豊穣



C 住宅街の中に静かに鎮座する稲荷神社 稲荷神社



D 金浦と金崎の境に鎮座する金崎稲荷神社





ご利益
五穀豊穣
商売繁盛

昔、この一帯には「狐が人をだます」という言い伝えがあり、狐は霊力を持つ神聖な存在として信仰されてきました。

E 源平合戦の時代に「陶山城」が築かれていたと伝えられる 妙見宮







ご利益
災難除去・敵退散
延命長寿・国土守護

F 暮らしを守る「火の神様」 荒神社



物事を新しく生み出す「作神（さくがみ）」としての性格も持ち合わせています

G 歴史ある商家と風情ある町並み 久我邸



この周辺は映画『とんび』のロケ地に使われました

H 謎に満ちたルーツを持つ神社 恵比寿神社



ご利益：足腰の健康守護・商売繁盛

I 「インドのワニ」が起源！？ 金比羅神社



ご利益：海上安全・雨乞い（水と海の守護）

J 菅原道真を祀る学問の神様の神社 天神社



ご利益：学業成就・合格祈願

K 室内外に数多くのお稲荷様が合祀 稲荷大明神



ご利益：商売繁盛」や「家内安全」

L 港町・金浦の歴史を語る小さな祠。海の安全を見守る住吉社を訪ねて。 住吉神社



ご利益
海の守護神
外交の神：人間関係の円滑化
和歌の神：アートの才能を開花

「とと道」のスタート地点

住吉神社は、高梁市吹屋まで約60km続く「とと道」のスタート地点！
かつて魚（とと）を運ぶ行商人が行き交った歴史ある道です。







ひったかの山の近くノラネコ山からの景色





★ 西浜八十八ヶ所霊場（いくつか札所があります）

★ 金崎稲荷神社 D



とと道とは

ベンガラ景気に沸く吹屋の山奥へ、サワラや鯛などの新鮮な海の幸を天秤棒でリレーした「とと道」。
過酷な山坂をわずか半日で駆け抜けた男たちの足跡をたどり、当時の熱気と歴史ロマンを体感してみませんか？

地元民おすすめ

地元民おすすめ
ひったかおしぐらんご
開催場所

金浦公民館 ★

★ 稲荷大明神 K
★ 妙見山
吉田川
★ 天神社 J
行者山
G
F
E
A
★ 妙見宮
★ 久我邸
★ 荒神社
★ 八幡神社
★ 恵比寿神社
★ 田方神社 B
★ 金比羅神社 I
H
★ 住吉神社
★ 竜宮荘
L
★ 稲荷神社 C
はま公園
金浦湾

笠岡市金浦地区

エリアB　（吉浜・生江浜・旭が丘あたり）

波穏やかな入り江に寄り添う吉浜・生江浜地区。
歴史ある神社や海辺の風景、四季の花々を楽しみながら、ゆったりと散策できる癒しのエリアです。

歴史スポット
ぜひ足を運んで欲しい
寺社

A　カキツバタ咲く名所！ 菅原神社と重要文化財「眼鏡橋」を巡ろう

菅原神社

吉浜を訪れたら絶対に見逃せないのが「菅原神社」！

歴史：延宝2年（1674年）、福山藩主・水野勝慶により造営。
御祭神：菅原道真公（学業成就・合格祈願の神様）



見どころスポット

眼鏡橋とカキツバタ

明治時代の美しい石造り二連アーチ橋。
5月上旬には約3,000株の
紫色のカキツバタが見頃を迎えます。
随門（ずいもん）：
邪悪なものを防ぐ立派な守護門









境内の神々（末社）
龍神様：水難除け・金運の神様。
荒神社（防災）、吉備津神社（厄除け）
地神（豊作）、祇園神社（疫病退散）

B　悲劇の人柱を祀る

お清明神

約300年前の江戸時代、干拓工事の成功を祈願して
生け贄（人柱）となった美しい娘「お清さん」と白馬の霊を
慰めるために建てられた祠です。



C　江戸時代の海岸線へタイムスリップ！ 大迫力の自然岩が残る「矢掛屋 清水家庭園」

清水庭園

ここはなんと、江戸時代の干拓前は実際の海岸線だった
場所！大迫力の自然の露岩や山肌をそのまま活かした
珍しいお庭で、かつて海が広がっていた往時の笠岡の姿を
今に伝えています。縁起の良い「竜門瀑」の石組も必見！
観光協会に連絡して歴史探訪へ出かけましょう！



D　年に一度の「牛の大行進」に大興奮！？ 村中が熱狂した生江浜の歴史ロード「一本松」

一本松

明治から大正期、山奥から海を目指す「牛の大行進」が
見られた一本松の土手道。
目的地はなんと先ほどの「厳島神社」！
牛を運搬船に乗せるため、年に一度だけ現れる大群に
村の子どもたちも大興奮だったそうです。



E　力満点「竜のしめ縄」がお出迎え！ かつての港町・生江浜の歴史を伝える

厳島神社

生江浜の氏神様「厳島神社」。
一番の見どころは、鳥居に掛かる
全国的にも珍しい「竜の姿をしたしめ縄」
です！氏子たちが10年に一度手作りし、
地域の絆を今に伝えています。





設備・お役立ち情報

裏手の屋外トイレは
常時利用可能。
周辺道路：
昔ながらの静かな住宅街で
道が細いため、車は
徐行運転で。





干拓の歴史

吉浜干拓　　造成年　寛文元年（1661年）
生江浜干拓　造成年　寛文9年（1669年）
備後福山藩（水野勝貞の時代）が開拓を主導

※山じゃないところはほぼ干拓地です

地元民おすすめ

陸の孤島を繋いだ渡し舟

「昭和まで続いた、生活を支える渡船の記憶」

近代まで陸路の接続が悪く「陸の孤島」と呼ばれた生江浜。住民の命綱となったのが、対岸の金崎を結ぶ手漕ぎの「生江浜渡船」でした。通学の学生や買い出しの買い物客を乗せ、エンジン船へと姿を変えながら昭和の大干拓まで運行を続けました。現在の陸地化された風景からは想像もつかない、海と共に生きた時代の名残です。

笠岡市金浦地区

エリアC（相生・大河あたり）

里山の自然と昔ながらの風景が残る相生・大河地区。
歴史ある神社や地域に伝わる文化に触れながら、ゆったりとした時間を楽しめます。





B

珍しい「煙草神様」や代官奉納の灯籠も！
かつての農村の暮らしと祈りが息づく「霧見神社」

霧見神社



急な石段を登ると力強い備前焼の狛犬がお出迎え！
近江の多賀信仰に由来する霧見神社には、江戸時代の笠岡代官が奉納した石灯籠が残っています。
境内には、牛神様や珍しい「煙草神様」など、かつての農村の暮らしや息づかいを今に伝える小さな神様がズラリ。
備中地方の歴史がギュッと詰まった美しい神社です！

あなただけの里山風景を撮ろう！

季節や時間帯によって表情が変わる
景色を写真に残してみましょう。



C **D**

西の堂は笠岡市ではもっとも大きいお堂

西の堂・東の堂

旧街道の分岐点ならではの歴史的風情と、笠岡最大級を誇るお堂の存在感。
「西の堂」から旧街道の面影をたどりながら「東の堂」へ向かうルートは、
吉浜の自然と歴史を肌で感じられるおすすめの散歩コースです。



西の堂



東の堂

E

見晴らしのいい石鎚山を
ハイキング！

石鎚神社

歴史スポット
ぜひ足を運んで欲しい
石鎚山



かつては「石鎚神社」が祀られ、
多くの地元の人がお参りに訪れる
信仰の山でした。
時代の流れとともに神社のお堂は
なくなってしまいました。
しかし石仏が、静かに佇んで私たちを
迎えてくれます。
山頂までの道のりは、ちょっとした
運動にぴったりのほどよいハイキングコース。

A

「一言の願い」を叶えるパワースポット！
かつての海辺の記憶と旅人の温もりを伝える「葛城神社」

葛城神社





たった一つの願いを叶えてくれる「一言主命」を祀る葛城神社。
実は昔、すぐそばまで海が迫り、潮の満ち引きでしかお参りできない場所でした！
境内には、大山参りの旅人をもてなした「かまど跡」も残り歴史情緒たっぷり。
かつてこの地を行き交った人々の温かな交流や、金浦の豊かな歴史ロマンを
今に伝えるスポットです！

一本松（生江浜）と繋がる歴史

境内の「かまど跡」は、一本松の「牛」とも
縁深い「大山参り」の旅人が休んだ場所。
ルートの繋がりを感じます



水が育てた里山の暮らし

相生・大河には、ため池や水路が
多く残っています。
水を分け合いながら農業を営んで
きた先人の知恵を感じることが
できます。

珍しい民間信仰「七夜神社」

入口の「七夜神社」には、境内の土を
患部に塗って祈ると皮膚病が治るという、
ユニークな風習が伝えられています。





吉田川は昔、塩が満ちれば海水、
ひけば淡水になる川でした。
昔はうなぎやブルーベリーが
採れていたそうです。

